

科目名		授業形態	担当教員名	
物理学		講義	堀越 圭子	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
15 時間 (1 単位)		8 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
物理学とは、自然界の現象、仕組みや法則性を観察や実験を通して解き明かそうとする学問であるゆえ、私達の生活とも深く密着している。そこで、私達が日常生活で見逃している現象をズームアップして「親しみやすい物理学」を目指し、学習する。				
授業の到達目標				
1. 力のつりあい、物体運動について説明できる。 2. 人体の平衡や安定性について、力学の概念を用いて説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	誤差と有効数字と色々な力			
2	色々な力			
3	剛体のつりあい(1)			
4	剛体のつりあい(2)			
5	力と運動(1)			
6	力と運動(2)			
7	仕事と力学的エネルギー			
8	テスト予想問題と解説			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%	授業内容の総理解力の評価		
レポート・課題				
小テスト				
平常点	20%	講義への取り組み態度の評価		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自然科学の基礎としての物理学	原康夫		学術図書出版	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
備考				